



賀  
春

あなたと町政をむすぶ★★★★★★



広報

しべつ

1 月号

昭和56年

No. 166

56・1・1

編集と発行／標津町町民課知らせ聞く係

印刷所／標津印刷株

標津町長

小野 幸三

あけまして

おめでとらうござらます



町民の皆さん、明けまして、おめでとうございます。

輝かしい昭和五十六年の新春を迎え、謹んで皆さまのご隆盛をお慶び申し上げます。

昨年は、八十年代の幕あけとして、厳しい前途が予想されました。いま、過ぎ去った一年を振り返ってみましたとき、国の景気浮揚の政策は、一転して緊縮財政へと移行し、それにもなつて、地方の行・財政も変革に迫られました。しかしながら、本町におきましては、関係機関のご理解あるご指導、ご援助と、町民各位の一致協力によって基幹産業であります農・水産、あるいは、商工業におけ

る諸施設の拡充整備が進められ、さらにもた、体育・文化施設につきましても特段のご高配をいただき、初期の目的を達成することができました。

さて、現今の社会諸情勢は、極めて複雑緊迫の様相を呈しており、新しく迎えた昭和五十六年は、内外共に、実に多難の年というべきであります。しかも、本町にとりましては、本年は開基二百年をめざす、二年目の年で、

さらにまた、地方行・財政を取りまく環境は、必ずしも樂觀を許さず、一層の厳しさが予想されますが、前途に思い戸惑うことなく、厳しい時代にこそ町民一致協力して、積極果敢に対応する姿勢が大切であることを痛感しております。

当面する本町の課題は、基幹産業である酪農・水産・商工業の将来如何にあるべきかという根本的問題をはじめ、国鉄、チーズ工場、さけ・ますモデル基地構想、農村総合整備地域の指定、或は、教育施設の整備、歴史文化の保存等々、課題は山積しておりますが、一面また、町民の日常生活に直結する、きめ細かい気配りを軽視することなく、『和やかな

中に 活気に満ちた 温かい 心のかよいあう町づくり』を目指して町民ともども、全力を傾ける決意でありますので、本年も変らざるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます次第でございます。

改めて、昨年中の公私にわたるご厚情を深謝申し上げます、皆さまのご健勝とご繁栄を祈念して、新年のご挨拶といたします。



標津町議会

議長 大沼善雄



新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春を、町民の皆様と共に迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、中東における武力戦争、アメリカ大統領選挙、我が国初の衆参同時選挙、あるいは全国的な冷害による農作物の被害など、国の内外ともに、激動の年であったといえます。又、本町にとっても、町をあげて反対を叫んでいる標津線廃止の問題は、国鉄合理化の大きな波に揺れ動いており、樂觀を許されません。その他、チーズ工場の誘致運動、さけ・ますモデル基地建设の陳情など、未だ実現に至っていないものが多くありますが、懸案解決のため多忙な年であったといえます。

一方、昭和五十五年度は、当初予算(全会計)が四十二億円計上され、初の四十億円突

破の大型予算として出発し、温水プール、野球場、農民広場、金山休養施設など、各種公共事業に大幅に予算が投入されました。これらの事業の大部分が完成、又は、完成間近であり、各種施設・設備の整備が、ハイピッチで進められていることは、大変喜ばしいことでもあります。

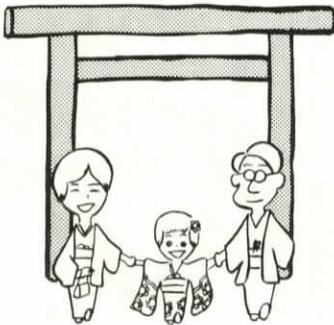
学校以外の公共施設として、中央公民館が建設されたのが昭和四十五年ですから、当時と比べると、まさに、隔世の感が致します。

このように、施設の整備は勿論必要でありますが、私達は、目に見えない、又、聞こえてこない住民の要望がないか、深く考えてみなければならぬと思います。時あたかも、今年には国際連合の決定による「国際障害者年」であります。心身に、なんらかの障害をもつ人達が、人間として、ふさわしい生き方ができるように、皆さんで考え、それを実行する

年にしようということでありませう。

昨年、新聞紙上に、心身に障害のある人による、悲しい出来ごとが、数多く報道されました。そのたびに、行政の無策を厳しく指摘されています。本町においても、なんらかの障害をもつ人は、判っているだけでも、約二〇〇人と聞いています。私達議員一同も、「国際障害者年」を契機に、これらの人達の問題は、その人の問題、あるいはその家族の問題としてとらえるのではなく、私達社会の責任としてとらえ、そのためには、何をすべきか、住民の皆様と共々考えて参りたいと思致します。より一層のご叱正を賜りたいと存じます。

皆様の、益々のご多幸を祈念致しまして、新年のご挨拶といたします。



標津町成人式は

一月七日

「広報しべつ」十一月号の、昭和五十六年成人者名簿に掲載されていない方々と、現在、他町に住み当町での成人式に参加を希望する方々を、次に、ご紹介いたします。

▼掲載されていなかった方

- 双葉町 西山 幸子
- 忠類 八柳 広子

▼標津町成人式に参加希望の方

- 村山 由美子
- 山内 佐由貴
- 川畑 美雪
- 堤 久徳
- 陶山 美代世
- 今井 恵子
- 吉田 賢治
- 金田 秀
- 岡本 敏仁
- 徳永 京子
- 猪股 浩二
- 横田 和雄
- 深山 扶路子
- 赤石 智英子

〈敬称略〉

標津漁業協同組合

組合長理事

馴山 猛



新年明けましておめでとございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一九八〇年代の幕開けは厳しく、激動の年と言われ、総ての人々が気持ちを引き締めてこの一年間を過ごされたものと思われまます。まさにキャッチフレーズ通り、激動の年であったと言わざるを得ません。総ての経済は低迷し、公定歩合の変動も数度ありまして、企業にとっては、不安定要素が多く含まれた、苦難の年であったと思われまます。

漁業に於きましても、春以来魚価安に加え諸物価の高騰に伴う漁業資材の値上がり、更に燃油事情の悪化と、漁業環境は極めて厳しいものがありました。しかし、当組合の大宗漁業であるホタテ・さけ漁業に於きましては予想以上の高値で販売されまして、販売取扱

計画三十七億円を上廻る、四十六億円の実績を示すに至りました。二百カイリ時代に入り漁業は育てて採る栽培型漁業、あるいは、資源管理型漁業へと移行しつつあります。

そのような中で、当組合と致しましても、ホタテ・さけ資源確保のため、漁民自らの手によって、ホタテ稚貝の採苗を実施致しましたが、異常低水温のために、稚貝採取は皆無の状態であり、管外より稚貝を移入し、ホタテ資源の確保にあたってまいりました。又、さけ資源については、第六次さけ定置漁業権切替に於いて、親魚確保のため操業期間の短縮が図られ、本年度の再生産用親魚につきましては、計画の二倍にも達する実績をあげております。今後は、更に効率の良い孵化事業を推進するため、標津川の魚止装置の改善を

図り、資源対策に万全を期して参ります。

本年も漁業情勢は、昨年にも増して厳しさが加わるものと思われまます。漁業の使命は、国民にタンパク源を供給する食糧産業としての認識を更に強め、町始め、関係機関のご指導ご協力を頂くと共に、地域住民の幸せと、地域産業の発展なくして我が町の発展はあり得ないと思われまますので、商・工・農林・漁始め、あらゆる産業が、融和・連帯感を強めて、この厳しい時代を乗り越えなければならぬと思ひますので、町当局のご指導を、お願い申し上げます。

最後に、町民各位の益々のご健康とご発展をご祈念申し上げます、年頭のご挨拶と致します。



昭和56年

今年は

トリ年

サル年が去ると、次はトリ年。

トリ年は、十二支の十番目にあたり、「酉」にニワトリをあてはめたものですが、考えてみるとチョットゆかいなのは、昔の「酉の刻」といわれた時刻が、今の午後六時ごろと、その前後約二時間で、どう考えても、夜明けを告げるニワトリにはふさわしくないことです。また、「酉の方角」というのは、西の方だそうですが、ニワトリというとなんとなく日の出る方向、つまり東の方向が似合うように思えるのですが……。

それはともかく、ニワトリと人間とのつき合いはきわめて古く、インドでは、紀元前一、七〇〇年ごろにはすでに家畜化され、その後各地に広まったといわれていますが、日本には中国・朝鮮半島を経て伝わり、有名な「天の岩戸」の神話にニワトリが登場していることは、よく知られています。

天照大神（あまてらすおおみか

標津町農業協同組合

組合長理事

吉田昇



町民の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい新春を、ご家族共々ご健勝のうちにお迎えの事と存じ、心からお慶び申し上げます。

ご承知のように、本町の基幹産業の一つであります酪農については、乳価の四年連続据え置きと実質値下がり、需給不均衡、諸生産資材の高騰、負債重圧等かつてない苦境にた

たされている現況にあります。この様な環境のなかで、昨年は関係各位のご指導ご支援をいただき又、酪農家個々に於いても、あらゆる努力を傾注して参りましたが、牛乳生産では、前年をやや上廻る結果にとどまり、一方畜肉個体販売も消流、価格ともに低迷のまま推移致しました。

このように、厳しい酪農を取りまく諸問題を山積みしたまま新年を迎えた訳ですが、この厳しさが増大こそすれ、今のところ緩和さ

れる兆しはありません。又、昨年十二月に農林水産省は、今後十年間の酪農の羅針盤ともいえる「第四次酪農近代化基本方針」を、畜産振興審議会に諮問致しました。このなかで本道の生乳生産の伸びを年率四パーセントとし、「第三次酪農近代化基本方針」より、成長速度をスローダウンさせたものとなっております。

しかし、我が町は幸い、平たんて拡大な農用地に恵まれ、基盤整備も比較的進んでおります。今後共、国に対しては、負債の条件緩和や、輸入乳製品の抑制等酪農民の総意を結集し、系統をあげて強力に運動を展開して参りますが、一方、私共酪農経営に於いても、もう一度足元から見直し、単に国の無策ぶりを非難し、頼りきることなく、自ら、どうしたかもつと生産コストを下げる事が出来るか、支出を減らす事が出来ないか等、真剣に総

点検する年にしたいたいと思います。我が国の牛乳々製品消費量も、欧米諸国に比較すれば、四分の一あるいは五分の一に過ぎない現状にあり、反面、それだけ将来に向って米等に比較すると、希望のもてる作目といえます。

すでに、本町の酪農経営者の中心は、三代目に移っておりますが、初代入植者の名残しがたい苦勞を思いおこす時、必ずやこの苦境をきり抜けるものと信じています。

私共も、町内各産業と手を携え、いささかたりとも産業振興の一端を担い、本町発展に寄与致したい所存であります。

年頭にあたり、平素町民各位の農業協同組合に対してのご理解とご協力に感謝申し上げます。併せて、今後共変らぬご支援を、切にお願い申し上げます。



み)が、岩戸にたてこもった時、ほかの神がみか困って、常世の長鳴鳥を鳴かせたりして、天照大神を岩戸から出そうとした話が、それです。

それにしてもニワトリは、昔は暁を告げる靈鳥として、宗教的に用いられたり、また、ヨーロッパやアジア各地では闘鶏として娯楽用に飼われていたことが多く、どちらかというところ、オンドリが主役でした。もちろん、肉や卵も食べられていたようですが……。

ところが今では、多くの人びとにとつて、卵が朝食に欠かせないものになり、メンドリ主役の時代になりました。とくに日本では、このところ、卵とトリ肉が、物価の優等生として歓迎されています。そのわりには、ニワトリは、集団生活を強いられるようになってしまつて、今は、庭にニワトリの姿を見ることがめずらしくなりました。かといって、ニワトリのいる動物園は少ないし、ニワトリの声をテレビやラジオでしか聞いたことのない子どもが増えているようです。ちょっと、さみしい気がしますね。

ともあれ、今年一年が、よい年でありますように……。



町内の皆さん、あけましておめでとうございます。  
います。

一九八一年の年頭にあたり、皆さんの健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昭和三十五年、商工会法の制定とともに発足した当商工会は、昨年で満二十年を迎え、全道多くの商工会とともに、札幌にて商工会法制定二十周年記念式典をあげ、新たな決意を誓い合ったところであります。

省りみまずとこの二十年間、町内の皆様、そして町をはじめ、関係諸機関には大変なご支援とご指導を賜りましたことを、深く感謝申し上げます。この間商工会組織は、経営改善普及事業を主軸として、活発な事業活動を続けながら、今日の基盤確立を図って来たところでありますが、近時経済社会の激しい変化は、当然のことながら事業の最的拡大と質的充実への要請を増幅させる結果を来たし、

組織に対する社会的使命と責務は、往時に比し、格段の重きを加えているところであります。我々は、これらの事態を充分に心にとめ地域づくりのために邁進する覚悟でございます。

さて、近時、国内外の諸情勢は、「不透明、不確実の時代」といわれる一九八〇年代を象徴するかのように、激しい変動を来たしております。国際的には、中東の政情不安、日米・日欧の貿易摩擦、又、国内的には、エネルギー問題に起因する経済の低迷等、その前途には、一層の困難が待ち受けているところであります。我々は、これら社会経済の変化を適確に捉え、適切な対応策を構じていかなければならず、そのためには、会員の一層の結束とともに、組織機能の充分な発揚を図り「行動する商工会」そして「地域に愛される商工会」となるよう努めなければならぬと

考えております。

今、本町の経済は、低調ながらも安定した成長を続けております。しかし、一次産業においても、その前途は決して楽観を許されない状況にあり、又商工業においても、大資本の地方攻勢により、非常に厳しい事態を迎えております。しかし、又その反面、観光面においては、知床横断道路の開通により新たな局面も展開しつつあります。我々は、これらの事態を充分に認識するとともに、過去二十年間の反省に立って、企業体質改善のための経営改善普及事業の質的転換と、豊かな地域づくりのため、会員一同、団結の力によって自らの活路を拓き、地方の時代を文字どおり自らのものとする決意であります。

どうぞ町内の皆様、何卒、一層のご叱声、ご支援を心よりお願い致しまして、新年のご挨拶と致します。



### 『健康かるた』

#### 標津老人クラブ

標津老人クラブでは、自分たちの健康を、楽しみながら守るために、みんなで楽しめる「健康かるた」をつくってききましたが、このたび、楽しい「健康かるた」が、できあがりしたので、その一部をご紹介します。

い||一位より ||ピリ一等の

気楽さよ

ろ||老人も ||モダンダンスで

若げえる

ぬ||ぬかれても

老人スポーツ大会の

楽しさよ

め||めをさましたら

道産子体操で

きたえよう

み||みんなて考える

健康法

ん||んで ||イロハカルタは

終れども ||私の人生これからだ

この「健康いろはかるた」に、

絵かるたができあがるのが、楽しみです。

みです。

# 金山峡温泉『せせらぎの宿』<sup>近々オープン</sup>

標津・斜里を結ぶ、国道二四四号線「金山峡」に、かねてから建設中の「温泉施設」……。この工程完成し、来年一月中旬にオープンが予定されています。

これに先がけ町では、温泉施設にふさわしい「名称」を皆様から募集してりましたが、その名称が決まりました。

名称は……

## 金山峡温泉『せせらぎの宿』

この名称は、標津の山内清一さんの作品ですが、「金山峡温泉の中に

## 20歳です・国民年金です

成人を迎えられた皆さんおめでとう。

あなたも二十歳になると、成人として多くの権利と義務が生まれます。国民年金に加入するのもその一つです。

国民年金は、農林漁業、商工業、サービス業などの自営業者と、その家族のために国が行っているもので、我が国では一番大きい年金制度です。

国民年金に加入して、満一年保険料を皆納すれば、障害者になっ

ふさわしい名称」と六十一一点の中から選ばれました。

さて、すぐそばにある「金山スキー場」も近々オープンされることから、この『せせらぎの宿』を利用される方も多いことと思いますが、使用料は次のとおりです。

▼大人 四〇〇円(入湯税含)  
▼その他 二〇〇円(幼児無料)

また、この料金は、原則として大広間を利用される場合であり、個室等を使用する方については、別途料金がかかることとなります。

## わたしたちの国民年金

たり、未亡人になったりしたとき、障害年金や母子年金で保障されます。職場が変われば、ほかの年金に通産されて、掛けた保険料は無駄になりません。

そして、最低二十五年の保険料を納めると、隠退後に老齢年金を受けて、しっかりした生活設計が成り立ちます。

いまず、役場福祉課国民年金係に、印鑑を持参して、国民年金加入の手続きを済ませましょう。

## 除雪にご協力ねがいます

いよいよ、吹雪のシーズン……。

例年一月からは、大きな吹雪が何度も起こり、各地で交通機関などの混乱があります。

町では、このような混乱を、少しでも早く排除するため、毎年除雪対策を構じておりますが、今年も、幹線を優先とし、順次支線に向って実施できるように体制を整えています。

除雪は、各地区に除雪車を配置しており、朝は六時頃から開始し、市街地の一車線開通を四時間以内に終了するよう、また全地区については、一日から二日間で除雪できる計画を樹てています。

なお、降雪または吹雪中については、市街地内の特例を除き、除雪を行わないこととしておりますので、ご注意ください。

### 最も困る「路上駐車」

除雪作業のうえで、最も困るのが「路上駐車」です。

除雪車の動きがとれず、作業が大幅に遅れますし、危険も伴います。この他、公共駐車場の車も同様、大変困ります。

また、降雪中に「ゴミ」を出す方がおりますが、これら物を置く

道路に投雪は厳禁  
「家の前の雪を除いた後に、また除雪車が雪を置いていった……。こんな苦情をよく聞きます。」

二度三度と雪投げをすることが大変なのはよくわかります。しかし、除雪は一度に広くできませんので、何回か同じ場所を除雪車が通ります。ご理解ねがいます。

また、そんな雪を、道に投げた人が見受けられますが、交通安全のうえから見ても、非常に危険です。再び車道に雪を押し戻したりしないようねがいます。とくに市街地では、できる限り除排雪にご協力ねがいます。

### 「雪捨て場」昨年と同じ

市街地についての「雪捨て場」は、昨年と同様、次のとおり指定いたしますので、ご協力ください。

●標津市街——標津車輛整備工場

●川北市街——川北基線シユラ川

●両者とも、立看板がありますので、間違えないよう、ご利用ください。

●川北市街——川北基線シユラ川  
右岸の空地

両者とも、立看板がありますので、間違えないよう、ご利用ください。

# 燃えないゴミの収集

## 一月は五・六・七日です

『燃えないゴミの収集』については、先月(十二月)号でもお知らせしましたが、一月は次の日程で収集されますので、お忘れのないようご注意ください。

なお、例年一月は、この収集日が過ぎても、燃えないゴミの出

いる箇所が見受けられますので、絶対に出さないようご協力をお願いします。これは、雪に埋れ、不衛生の原因となります。

### 一月の燃えないゴミ収集日

▼一月五日(月)

新川上町・川上町・栄町・

緑町・弥栄町

▼一月六日(火)

本町・鳩ヶ丘町・双葉町・

桜木町

▼一月七日(水)

川北市街全域

### スキーのシーズン

#### 要注意!

- スキーに乗る前には、準備運動等を行い、体をほぐすこと。
- スキーやくつ等の用具に、不備がないか確認すること。
- リフトの乗り降りは、指定の場所から行うこと。
- リフトに乗っている間は、静

かにして搬器に振動をあたえないこと。

#### ※標津営林署

#### からのお願ひ※

スキー場や温泉施設は、国有林野内にあり、ゴミやアキカンはその場に捨てないで、所定のゴミ箱に捨てるか又は、各自ゴミ袋等を用意し、もち帰るようにしましょう。

## 1・2月の健康相談日

町保健課では、各地区での健康相談のほか役場(基幹集落センター)の健康相談室を会場とした『全町対象の健康相談』を、次の日程で行います。

時間は、いずれも午前十時から午後三時までですが、お気軽にご相談ください。

### ◎健康相談日◎

- ▽一月 九日(金)
- ▽一月二十三日(金)
- ▽二月 二十日(金)

## 2月の不燃物収集

◎収集日程◎

- ▽二月四日(水) 川北市街地区
- ▽二月五日(木) 新川上町
- 川上町
- 栄町
- 緑町
- 弥栄町
- ▽二月六日(金) 本町
- 鳩ヶ丘町
- 双葉町
- 桜木町

2月は、以上の日程で、燃えないゴミの収集を行いますので、一般のゴミと区別してお出しください。

# 初夢

「初夢というのは、いつ見る夢のことでしょうか?」——さあ、おわかりですか。

大晦日から元旦の明け方にかけて?

いや、元旦の夜?

それとも二日の夜?

と迷う方もおられると思います。

実は「初夢を 二日にするのは 得手勝手」などの川柳にもみられるように、諸説あります。

昔は、暦の上で、春が始まる立

春の明け方の夢が「初夢だ」といわれていましたが、その後、「大晦日から元旦にかけて」となり、江戸時代には、徹夜をする風習がひろまって「元旦の夜」に、さらに東京あたりでは「二日の夜」ということになったなど、ややこしい話です。

初夢にあらわれるものは、昔から「一富士、二タカ、三ナスビ」が縁起がよいとされています。

べつに、これらの夢をみなくても、せめて初夢には、悪い夢を見たくないと思うのは人情。それで、江戸時代には、宝船の版画絵を枕の下に敷いて寝る風習があったようので、その絵を、「お宝、お宝」といって売り歩くのが、正月の風

物詩でした。そして、悪い夢を見ると、絵を川に流したそうです。

また、上から読んでも下から読んでも同じになる回文歌「な(か)が(き)よの」とをのねふりのみなめざめ なみのりふねのおとのよきかな」という文字を宝船の絵や折り紙で折った船など書き、三回読んでから枕の下において寝ると、よい夢を見て、幸運が訪れるとされてきたようです。

それにしても今年は、異常天候などによる凶作とならないように、ナスビの夢でも見たいものです。